

(様式3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	ふらのアグリガール育成協議会
取組	(1) 女性農業者グループの活動支援 (2) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保
構成員数	6人(うち、女性の人数: 3人) (令和3年4月時点)

1 事業実施方針

<p>①背景・課題 富良野市は古くから転作を進め、北海道でも有数の野菜産地となっている。特に施設園芸においては北海道有数の規模となっており、労働集約型品目(メロンやミニトマト等)であることから多くの労働力が必要となっている。しかし、少子高齢化が進み、農業経営規模は拡大傾向にあり、世帯分離も進んでいることから、担い手不足は顕著である。これまでも産地全体で、全国から働き手を募集し農作業ヘルパー事業に取組み、人材の確保を行ってきたが、全国的な人手不足から確保の厳しい状況が続いており、また農閑期となる冬場は一時地域を離れてしまうことからリピート率が低く、十分な労働力の確保には至っていない。それにより施設園芸の作付面積が減少傾向にある。</p> <p>②目的 本事業では働き手として“新たな層の掘り起こし”と“リピート率を高めること”を目的とする。</p> <p>③方針 (新たな層の掘り起こし) 富良野市が過去に行った労働力調査で潜在的な働き手として浮かび上がった地域内の小学生以下の子どもがいる女性(子育てママ)をメインターゲットとして掘り起こしを行い、人材を確保する。 (リピート率を高める) 新たに確保した子育てママが、単に働く場所ではなく地域に愛着を持ってもらうこと、かつ、経営者同士や経営者と子育てママ間、そして子育てママ同士が「働くこと」以外の繋がりを強めることによりリピート率を高める。</p> <p>④実施 本事業を通じて、より多くの人材の確保を目指す農業者が集まり、作目や地域の垣根を超え連携しながら子育てママを主とした女性農業者が働きたくなる農園環境を一律に整備し、農業と地域への愛着・定着へ繋げる取り組みをあわせて行うことで、働き手が単なる農作業員ではなく、女性農業者(⇒ふらのアグリガール)として活躍する人材として育成する。</p> <p>経営主と「ふらのアグリガール」がコミュニケーションを取りやすい環境づくりを進め、農園のカイゼンを一緒に考え、より働き甲斐のある農園を目指すとともに、農業者間において作期が異なる作物を組み合わせることで、できるだけ長期の仕事を確保し、人材の確保増、リピート率を高めることに繋げる。 ※作目はメロン、ミニトマト、ほうれん草、アスパラガス、小麦など ※富良野市は大きく富良野地域、山部地域、東山地域に分かれており、会員はそれぞれ地域が異なる。</p>
--

(具体的な手法)

子育てママにおいては、通園(通学)時間内での勤務や土日は休みたい、子供が体調を崩し急なキャンセルなど時間的な制約が多く、さらに働く環境整備として衛生面に不安を持っている方が多い。

これらの解決に向け、急なキャンセルや短時間勤務、土日休みを可とするなど就労条件を緩和すること、かつ、衛生面等については「女性専用」のトイレや休憩室を整備し、気持ちよく働きやすい環境を整える。

※富良野市の子育てママへの農業従事アンケート結果では「働きたい」と「興味がある」で約40%の回答があった。また就労条件では「急なキャンセル対応があれば」が50%、「短時間でも可能ならば」で30%の回答があった。

人材の呼び込みについては、主に子育てママを対象に農業体験研修を開催し、ふらの農業の魅力と本協議会の雇用環境について、子育てママの利用者が多いアプリ等を活用したPRを実施することでマッチングの成功率を高める。

定着を図る取組として、子育てママ家族向けの収穫体験や農閑期に地域イベントを開催し、子供の食育を進めるとともに、子育てママの働く場所としてだけでなく、地域に愛着を持ってもらう。また、作業着の展示会を企画し、農業でもお洒落を楽しむことができることを伝える。

さらに育成については、子育てママと経営主を交えた勉強会を開き、経営主との距離を縮め、よりよい農園の環境づくりに向けた意見交換の場とするとともに、子育てママ同士が気軽に話し合える場とすることで、子育てママの我が家以外での居場所となるようサポートを行う。

※コミュニケーションを取りやすくし、上下なく意見が言える農園を目指す。意見が農園のカイゼンに繋がり、より良い環境をつくと共に女性農業者に責任感を持ってもらうよう働きかける。

この事業を通じ、農業のイメージを3K(気軽に、きれいに、気持ち良く)へと刷新し、他地域のモデルとなる取り組みを進め、情報を積極的に発信し、働きやすい環境づくりを進める輪を広げていく。

⑤子育てママへの応援として

本事業においては女性農業者の確保と活躍を推進させ定着を図ることが目標であるが、構成員も子育て中であり、子育てママの苦労や悩みを分かち合うことも大事と考えている。子育て世代の女性(農業者含む)の悩みは多岐に渡るが、ちょっとした時に頼める、相談できる他人のネットワークがあればあるほど安心感が高まり、子育てが孤育てになりがちな農村社会や移住・転勤による誰も知らない土地といった環境の中で、様々な人とのネットワーク化が進むことにより課題を最適化し、満足度の向上を図る。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性農業者活躍に向けた実施体制

主体：ふらのアグリガール育成協議会

連携：富良野市(農林課) →勉強会や展示会等における連携

上川農業改良普及センター富良野支所 →農作業等における指導、助言

※ 生産者団体、市町村や〇〇農業公社、農業法人△△、などを記載すること。併せて構成員の役割分担を明記すること。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組)	(実施中の取組)	
(今後の取組) 1) 主に子育てママを対象とした農業体験受け入れ →農業体験を行うことで農業に対する敷居を低くするとともに、自身や子供が口にするものを仕事とする就農意識を上げる。	1) 年3回年間15人(目標)	
2) 女性専用トイレ等の施設の整備 →協議会で、女性専用のトイレと休憩室の施設を整備する。女性が働きやすい環境を整備し、農業のイメージアップを図る。	2) 今年中に(目標)	
3) 女性農業者活躍の情報発信(情報発信媒体(SNSなど)) →ふらのアグリガールの情報を発信することで、子育て中でも働ける環境と施設を整備している農業者がいることを伝える。協議会でSNSのアカウントを取得し発信するとともに、会員のHPにリンクさせることで市外・道外問わずこの取組を伝える。	3) 毎月(目標)	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 1) 定例会の開催	(実施中の取組) 1) 2021年5月	
(今後の取組) 1) 定例会の開催	(今後の取組) 1) 毎月実施(目標)	
2) 女性農業者向け作業着の展示会を開催 →農業にもお洒落を。働く意欲の中に衣服も影響	2) 年間1回程度(目標)	

<p>を与えると考えている。好きな服を着て仕事ができることで農業への愛着を持たせる。</p> <p>3) 女性農業者とその子どもを対象とした収穫期における農業体験受け入れ</p> <p>女性農業者が手掛けた農作物を自身の子供が収穫し食べることで食と農の大切さを伝えるとともに、ふらの農業に愛着を持ってもらう。また女性農業者に責任感を持たせることにより、育成を図る。</p>	<p>3) 年間3回程度 期間7月～9月（目標）</p>	
--	----------------------------------	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>(今後の取組)</p> <p>1) 雇用環境を整備した農業者によるネットワークを活用した雇用期間の延長</p> <p>2) 関係機関（市）と連携した勉強会・研修会への参加を通じた関係性・ネットワーク構築 →女性農業者をメインにした勉強会（コミュニケーションやカイゼンなど）を行い、女性農業者の育成を図ることでよりよい農園づくりを一体となって進める。</p> <p>3) 女性農業者活躍の情報発信（情報発信媒体（SNSなど）） →女性が働いている姿を発信することで農業が男女共に活躍できる仕事であることを発信する。</p>	<p>1) 年間1回（目標）</p> <p>2) 年間1回（目標）</p> <p>3) 毎月（目標）</p>	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 地域の女性ネットワークづくり、女性グループ活動

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2021年7月～11月	活動①：主に子育てママを対象とした体験会の開催。 →協議会の各構成員のほ場にて収穫作業などの農業体験会を開催。対象者：主に子育てママ、託児可として参加しやすくする。収穫体験、終了後経営主や女性農業者と話す機会を設け、就農に向けたイメージを持ってもらうことで壁を低くする。各農場5名程度の参加としコミュニケーションを取りやすくする。	
2021年7月～11月	活動②：女性農業者に向けた家族参加の体験会の開催 →協議会の各構成員の農場で働いている女性農業者に向けた家族向け農作業体験会。女性農業者に作業の責任感を持ってもらう。収穫物を食べる食育を進め農業と地域への愛着を持ってもらう。	
2021年11月	活動③：女性農業者をメインにした勉強会の開催 →女性農業者と経営主と一緒に参加し、コミュニケーションを深めることで忌憚のない意見を交わす環境をつくり農園カイゼンを図る。 活動④：女性向け農作業着展示会を開催 →活動③と同時開催。	
時期未定（視察先と決定）	活動⑤：道内先進農園への視察・勉強会を実施 →先進農園を訪問し、ふらのアグリガールの活動に活かす。	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2021年8月頃	整備①女性労働者の安定的な確保と定着を図るた	

	<p>め、被雇用者が安心して農作業に取り組める環境整備の支援を行います。</p> <p>→構成員が一律に女性専用のトイレと休憩室を整備し、女性農業者が働く場所を異動しても安心して働ける環境を備える。</p> <p>→女性農業者は現在協議会内で 14 名が雇用されている。当事業により新規で 6 名の雇用を目標にしており、5 名以上の利用者がいる。</p>	
--	---	--

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第 4 の (2) の事業の応募者は、確保する施設等について 5 名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	6 人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者	人、雇用就農者
	人、アルバイト・ボランティア等
	6 人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間 30 日以上の方とします。農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。